

水産業強化支援事業事後評価報告書

		千葉県
政策目的	水産業経営の強化	
政策目標	経営構造改善目標	(整理番号) 2-5 31-4
事業実施主体	天羽漁業協同組合	
実施地区名	千葉県富津市天羽地区	
実施期間及び目標年度	実施期間	目標年度
	令和元年度～令和 2 年度	令和 4 年度
交付金額	213,800 千円	
事業計画の内容	<p>天羽漁協は、竹岡・萩生・金谷の 3 か所で水産物産地市場を開設しているが、近年の漁業者の減少や高齢化などに伴う水揚量の伸び悩みによる市場毎の取扱量の減少により、非効率な運営となっている。</p> <p>そこで、輸送に便利な竹岡漁港に荷さばき施設、製氷施設、冷凍施設等を整備し、衛生管理の向上と高鮮度化を図るとともに、3 か所の市場で取り扱う水揚物のうち定置網以外の水揚物を集約することにより、市場運営の効率化を図り、市場取引を活発化させ、魚価の向上及び漁業者の所得向上を目指す。</p>	
評価	成果目標	本施設整備により得られる魚価の向上等により 漁業所得を 12% 向上する。
		現状値 (令和 4 年度末時点) 漁業所得 ●●● 千円
		目標値 (令和 4 年度末) 漁業所得 ●●● 千円
	(1) 現状値の説明	・漁業所得は、計画策定時の目標値 ●●● 千円（計画時点現状値の 112%）に対し、目標年度の現状値 ●●● 千円（計画時点現状値の 148%）となり目標を達成した。

	<p>(2) 地域への経済効果 (ハード事業のみ)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自動製氷機の整備により、計画時の氷仕入れ価格から原価が9割削減できた。また、魚市場で利用する氷が砕氷で使えるので角氷使用の時より職員の労力の軽減が図られたほか、砕氷で作る氷水は温度が低くなるため、陳列中の鮮度が保たれた。 ・コイン式自動製氷機の整備により、24時間利用可能となり利便性が向上した。 ・買受人業者数が平成31年度末●者から令和4年度末●者に増加し魚価向上に寄与した。
	<p>(3) 所見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・魚価単価の向上について、令和3年度まで新型コロナウイルス感染症に伴う消費の低迷により魚価は上がらなかったが、令和4年度になって、新型コロナウイルス感染症の影響が緩和したことや、東京都中央市場において竹岡地域としてのブランド力もあり、消費の向上が見られ魚価の回復及び漁業者所得の向上に繋がった。 ・荷捌き施設の整備により、人件費・製氷原価は削減され、令和4年度の魚価向上も鮮度保持設備による鮮度向上が寄与しているものと考えられる。 ・人員削減目標については●名が未達(●名の削減)だが、漁業者の高齢化により、漁獲物の陸揚げ・選別の手伝いがより必要となっている状況があり、柔軟な対応が可能となる職員配置を図っていると考ええる。
	<p>(4) 評価機関の意見等</p>	
<p>今後の改善方向等に関する分析</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・自動製氷機の利用率が、当初の計画に届いていないため、利用率向上により漁獲物の鮮度管理の徹底に努める。 ・市場を整備してから毎年鮮度講習会を開催しており、千葉ブランド水産物「竹岡つりタチウオ」など鮮度管理の徹底を図り、魚価向上によりその他の魚種の評価の向上につなげ、更なる漁業所得の向上を図る。